

登録コード	TSL19500	開講年度	2026		
授業科目	学外特別講義（水土）			担当教員	竹内 健司
英文授業名	Special lecture in other institute			副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期
講義室		授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当				
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】	
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ				
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力			国内外の高等教育機関の講義を受講することにより、工学に限らない幅広い知識が身につくようになる。	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ				
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力			国内外の高等教育機関の講義を受講することにより、工学に限らない幅広い知識が身につくようになる。	
(2)授業の概要	国内外の高等教育機関等が開講している授業や国内外での広範な活動成果について、履修希望者からの申請に基づき、履修（活動）の内容・時間数・難易度等が本学の単位として他の授業レベルに相当するか否かを個別に評価した上で単位認定をする。単位認定の対象となるかについては事前に学務委員に相談が必要である。 海外留学等の場合、留学先の大学等で履修した実績などを単位取得の有無に関わらず申請ができる。また、複数の授業科目・実績等を組み合わせることも可能である。				
(3)授業計画	1．学務委員との相談 受講の承認と申請 2．受講 他の教育機関のシラバスや海外留学のプログラム等を参照 3．単位認定の申請 受講・留学等終了後1ヶ月以内に下記の資料を揃え、学務委員に提出する。 ・"学外特別講義"履修申請書 ・申請書に記載されている添付書類一式（活動(履修)の内容・時間数等を証する書類、単位取得証明書、修了証など） ・その他、授業担当教員から指示のある資料等 1月末までの申請を当該年度の履修として受付ける				
(4)成績評価の方法	学務委員が提出された資料に基づき、活動(履修)の内容・時間数・難易度等が本科目として、本学の他の授業レベルに相当するか否かを評価した上でその達成度に応じて成績を認定する。 (他の教育機関等が与えた評定がある場合、提出すれば評価の参考とする。) なお、評価段階において必要に応じてヒアリングを行うことがある。				
(5)成績評価の基準	90点以上：「水準からみて卓越している」とみなし、秀 80点～89点：「水準よりかなり上にある」とみなし、優 70点～79点：「水準よりやや上にある」とみなし、良 60点～69点：「水準にある」とみなし、可 50～59点：「水準よりやや下にある」とみなし、不可(D) 49点以下：「水準にない」とみなし、不可(F)				
(6)事前事後学習の内容					
(7)履修上の注意	1．事前に学務委員の承認を得ずに受講した場合は単位認定されない場合があるので注意すること。 2．大学院入学後の受講・留学等のみを対象とする。				
(8)質問,相談への対応	分野の学務委員へ問い合わせる。 教員室に来る場合は事前にアポイントメントをとること。				
(9)その他	長野県内コンソーシアム加盟大学の授業については下記サイトを参照のこと。 高等教育コンソーシアムURL http://www.c-snet.jp/syllabus/				
【教科書】					
【参考書】					